

(様式)

令和6年度 卓球部の指導方針等について

令和7年4月23日

1 指導体制

顧問教諭氏名	
主顧問	古頭 千晶
副顧問	廣田 大樹
副顧問	清水 恵一

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標を達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
各予選大会3回戦出場を目指す

3 指導方針

部活動により生徒の自尊心が育つよう、生徒が主役の部活動づくりをする。

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日4時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
学期に1～2回程度、競技力やチーム力を高めるために練習試合を行う。
東京都体育連盟主催の大会に参加、勝利に向けて、効率的な練習を計画する。
- (3) 基本的生活習慣や規範意識等の育成
挨拶や正しい言葉遣い、部活内外でのリーダーシップがとれるようにする。
また、生徒自身がスケジュール管理をできるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を育てる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
信頼関係を築き、相手を気遣い、意欲を導き、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導がない部活動を展開していく。また、保護者と共通理解を図っていく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	関東大会予選 インターハイ予選 保護者会
	6	インターハイ予選
	7	夏季合宿山梨県南都留郡 体育館 (3泊4日) 多摩地区大会 学年別大会
	8	国公立大会 他校との合同練習・練習試合
2 学期	9	全日本卓球選手権ジュニアの部 予選
	10	東京都高等学校新人卓球大会
	11	
	12	農業六校卓球大会
3 学期	1	
	2	他校との合同練習・練習試合
	3	他校との合同練習・練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。